

地域社会保障教育推進事業実施要領

1 趣旨・目的

社会保障の給付と負担の構造を含め、社会保障に関する子どもたちの理解を深めるための教育を実施するとともに、その結果を分析し、今後、社会保障教育の全国展開に向けた検討をするための基礎資料として活用することを目的とする。

また、本事業では、講義形式による授業のみでなく、体験学習形式による授業も併せて実施する予定である。それぞれのより効果的な実施方法、また、講義と体験学習の効果的な連携方法を、受託者に検討していただきたいと考えている。

2 委託内容

(1) 社会保障教育の実施

地域に根ざした社会保障教育プログラムを策定し、委託先が拠点とする市区内等の高等学校等において当該プログラムに基づく社会保障教育を実施する。

(2) 報告書の作成

(1) の実施結果を踏まえつつ、社会保障教育を地域で推進するための方法について検討し、報告書を取りまとめる。

3 委託内容の詳細と留意点

(1) 社会保障教育プログラムの策定

ア プログラムに盛り込むべき主要項目

(ア) 全体スケジュール（学校ごと）

(イ) 体験学習

① 実施体制（学校、体験学習関係機関、受託先等）

② 実施内容（目的、内容、時間数、教材、充当する教科等）

(ウ) 講義

① 実施体制（学校、外部講師、受託先等）

② 実施内容（目的、内容、時間数、教材、充当する教科等）

(エ) アンケート項目（(2) エ参照）

イ プログラム策定における留意点

(ア) 総論

① 学習指導要領の総合的な学習の時間、公民科、家庭科等の教科の時間を活用できるような内容にすること。

- ② 体験活動と講義を組み合わせ、社会保障の理解促進に資するようなプログラムとすること。
- ③ 体験活動と講義を併せて、計3単位時間以上実施すること。
- ④ 学校・体験学習関係機関の名称、実施日程を記載すること。

(イ) 体験活動形式の授業について

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第62条において準用する同法第31条の規定の趣旨を踏まえたものとする。

※参考 学校教育法第31条（第62条において高等学校に準用）

第三十一条 小学校においては、前条第一項の規定による目標の達成に資するよう、教育指導を行うに当たり、児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

- ② 社会保障制度が実際に地域の多様な主体によって運営されていることを実感できるような授業内容を、関係機関、学校などと連携しながら決定していくこと。

(ウ) 講義形式の授業について

- ① 「社会保障の教育推進に関する検討会」で取りまとめられた教材を活用することもできること。
- ② 講師は、必要に応じて外部から講師を招くなどの工夫をすること。
- ③ 社会保障の理解促進に資するような授業内容を、学校、外部講師などと連携しながら決定していくこと。

(2) 授業の実施

授業の実施における留意点は以下のとおり。

ア 社会保障教育プログラムに沿って授業を実施すること。

イ 実施した授業のうち、1クラス分（体験学習形式・講義形式ともに）について、ビデオ撮影をすること。

※ 撮影したビデオは、「社会保障の教育推進に関する検討会」で上映し、本事業の効果を検証する場合などに利用する予定である。

※ 複数の学校で授業を実施した場合、学校ごとでなく、全ての学校のうち1クラスを撮影すれば足りる。

ウ 学校、体験活動の関係機関、団体などと密に連携を取りながら授業を進めること。

エ 授業実施後にアンケートを実施すること。

※ 対象者：生徒、教諭（外部講師を含む。）、体験活動関係機関職員

※ アンケートの必須項目：実施要領別紙参照

(3) 報告書の作成

ア 報告書に盛り込むべき主要項目

(ア) 委託事業の実施状況報告

- ① 実施体制
- ② 学校の選定、調整過程
- ③ 体験活動連携先の選定、調整過程
- ④ 市町村又は都道府県教育委員会との調整過程
- ⑤ プログラムの策定
- ⑥ 教材の準備
- ⑦ 授業の実施

(イ) 今回の授業で効果があった点、問題点、改善点等

(ウ) 今後、地域で社会保障教育を根付かせるためのポイント、課題

イ 報告書作成における留意点

(ア) 授業実施結果、アンケート結果を踏まえて作成すること。

(イ) 報告書の内容は、「社会保障の教育推進に関する検討会」等の場で公表すること。

(別紙)

授業後アンケート必須項目

(生徒用)

- この授業を受ける前後で、社会保障への関心度はどう変わったか
 - ※ 5段階評価（高い、やや高い、普通、やや低い、低い）
授業実施前・授業実施後をそれぞれに回答
- 今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいと思うか。
 - ※ 5段階評価（そう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、あまりそう思わない、そう思わない）
- その他自由記載（授業の良かった点、改善点など）

(教諭・授業を実施した講師用)

- この授業を通じて、生徒の社会保障への関心度はどう変わったと思うか。
 - ※ 5段階評価（高い、やや高い、普通、やや低い、低い）
授業実施前・授業実施後それぞれに回答
- 今後も、学校で社会保障に関する学習に取り組みたいと思うか。
 - ※ 5段階評価（そう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、あまりそう思わない、そう思わない）
- その他自由記載（授業の良かった点、改善点など）

(体験活動訪問先職員用)

- この授業を通じて、生徒の社会保障への関心度はどう変わったと思うか。
 - ※ 5段階評価（高い、やや高い、普通、やや低い、低い）
授業実施前・授業実施後それぞれに回答
- 今後も、社会保障に関する学習に協力したいと思うか。
 - ※ 5段階評価（そう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、あまりそう思わない、そう思わない）
- その他自由記載（授業の良かった点、改善点など）